

岐阜赤十字病院 救護班第7班 活動概要

1. 活動期間

平成23年4月28日(木)～5月2日(月)

2. 班員構成

医師(班長)	松原	総合診療科副部長
看護師長(副班長)	関谷	西4階看護係長
看護師	福永	ICU看護主任
薬剤師	馬淵	薬剤師
主事	浅野	医事課主任
自動車操作要員	吉田	栄養課職員

3. タイムスケジュール

4月28日(木)	7:20	岐阜赤十字病院出発
	19:20	石巻赤十字病院到(本部)着 プリーフィング後ホテル松島へ
	21:15	ホテル松島着
4月29日(金)	6:15	ホテル松島発
	7:10	石巻市河北総合センター着 救護所設営後救護活動開始
	11:30	診療終了後、飯野川第一小学校へ
	12:10	飯野川第一小学校着 救護所設営後救護開始
	15:00	診療終了後、石巻赤十字病院(本部)へ
	18:00	本部にて全体ミーティング、GMヒアリング 終了後ホテル松島へ
4月30日(土)	6:45	ホテル松島発
	7:45	石巻市河北総合センター着 救護所設営後救護活動開始
	11:00	診療終了後、桃生農業者トレーニングセンターへ
	11:45	桃生農業者トレーニングセンター着 避難者の健康状態確認
	11:55	巡回後、飯野川中学校へ
	12:35	飯野川中学校着 救護所設営後救護活動開始
	15:00	診療終了後、石巻赤十字病院(本部)へ
	17:30	小松市民病院へ引継ぎ
		※5月1日午前に実施予定であったが、小松市民病院からの要望により4月30日に変更
	18:00	本部にて全体ミーティング 終了後ホテル松島へ
5月1日(日)	7:00	ホテル松島発
	8:00	桃生農業者トレーニングセンター着 避難者の健康状態確認
	8:45	巡回後、石巻赤十字病院(本部)へ
	9:00	石巻赤十字病院到(本部)着 救護完了報告後雄勝地区視察
	12:00	新潟へ出発
	17:00	新潟パークホテル着 ホテルにて宿泊
5月2日(月)	7:30	新潟パークホテル発
	15:10	岐阜赤十字病院着 救護完了報告

4. 主な活動内容

[平成23年4月29日(金)]

7:30~11:30 石巻市河北総合センター(河北ビッグバン)

診療:男性6名 女性7名 計13名

血圧測定のみ:男性6名

12:30~15:00 飯野川第一小学校

診療:男性5名 女性6名 計11名

血圧測定のみ:女性1名

15:30 本部(石巻赤十字病院)帰着

[平成23年4月30日(土)]

8:30~11:00 石巻市河北総合センター(河北ビッグバン)

診療:男性5名 女性14名 計19名

血圧測定のみ:男性1名

11:40~11:50 桃生農業者トレーニングセンター

4月29日のGMヒアリングにおいて巡回を依頼され訪問。診療を要する避難者はおらず、避難者(2名)の健康状態の確認のみでした。避難所は大きく一般避難所と福祉避難所に大別され、福祉避難所には要介護4以上の、常に介護や診療を必要とする被災者が収容されています。今回GMから巡回依頼のあった当該施設は、一般避難所と福祉避難所の中間の避難所として位置づけられており、要介護1~3の被災者が収容されています。4月30日現在の避難者数は2名でしたが、1日2~3名程度の避難者が順次収容されるため、近日中に30~50名規模の避難所になる予定です。医師による診療よりも、ADLを上げるためのリハビリ等がメインとなるため、介護士や理学療法士を常駐させたいと考えているようです。

12:30~15:00 飯野川中学校

診療:男性4名 女性9名 計13名

血圧測定のみ:男性1名 女性1名 計2名

16:00 本部(石巻赤十字病院)帰着

17:30~18:30 小松市民病院と引継ぎ

※ 5月1日(日)午前に河北ビッグバンにて行なう予定でしたが、引継先の小松市民病院からの要望により、4月30日(土)17:30より実施しました。

小松市民病院の構成:医師1名、看護師2名、主事1名

全体引継ぎ 岐阜赤十字病院浅野より報告

職種別引継ぎ 医師、看護師・薬剤師、主事に分かれ引継ぎ

[平成23年5月1日(日)]

8:00~9:00 桃生農業者トレーニングセンター

避難者:男性1名 女性2名 計3名

診療を要する避難者はおらず、健康状態の確認のみ

9:30 本部(石巻赤十字病院)帰着 救護完了報告

5. 総括

我々が活動した河北地区は、直接の被害は受けていないため、衛生状態は良好で、ライフラインも全て復旧していました。商業施設も通常通り営業しており、大震災があった後とは思えない環境でした。4月29・30日現在、石巻市河北総合センター(河北ビッグバン)では542名、飯野川第一小学校では約150名、飯野川中学校では約210名の方が避難所生活をされており、主に雄勝地区に住んでおられた方がほとんどでした。避難者数は未だ多いものの、受診される方の数は各避難所とも2時間で20名程度と少なく、疾患についても、上気道炎や胃腸炎といった風邪症状の方と、高血圧等の慢性疾患で定期処方が必要な方がほとんどで、1名を除き軽症者でした。前班での活動データを事前に把握することができ、かつ活動場所の変更もなかったため、スムーズに救護活動を行なうことができました。班員のコミュニケーションも良好で、とてもやり易かったと思います。